



第65回

甲府中学・甲府一高
東京同窓会記念誌

vol. 31

日新鐘

当番幹事 昭和 61 年卒

心のよりどころがある限り
集う心、広がる未来



環境への想いをかたちに



HAYANO

真心と確かな技術

株式会社

早野組



SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

本社 ■〒400-0807 山梨県甲府市東光寺一丁目4-10

TEL.055-235-1111(代) FAX.055-235-1109

■営業本部 TEL.055-232-8686

■早野リパブル TEL.055-268-3333

■東京支店

■中部支店

■新宿営業所

■静岡営業所

東京都八王子市千人町二丁目5-24

長野県飯田市上郷飯沼1438-19'ン・イカ'41階

東京都新宿区四谷二丁目117'スト'ル7階

静岡県富士宮市外神2219-11リバーサイドハイック外神200号室

TEL (042) 667-8800 FAX 667-9497

TEL (0265) 22-3969 FAX 52-2171

TEL (03) 3352-8700 FAX 3352-8710

TEL (0544) 66-5454 FAX 66-5455

山梨縣立甲府中學校校歌

昭和三年十月二十三日制定

作詞／三井 甲之

作曲／東京高等音樂學院

一、我等は日本に生まれたり

神の御代より一系の

皇統戴く我國に

生れしことのうれしさよ

皇國の榮えは天地と

共に窮りなかるべし

二、大和島根に山めぐる

甲斐の國あり水清き

郷土の歴史顧みよ

我等の務め輕からず

見よや南に富士ヶ嶺は

皇國の鎮めと聳えたり

三、大海原の揺りやまぬ

波をも風をも凌ぎつつ

護れ皇國を諸共に

國民舉りて國のため

撓まず萎縮まず辟易がず

進むぞ大和どころなる

山梨県立甲府第一高等学校校歌

昭和二十三年十月二十二日制定

作詞／上条 馨

作曲／小松 清

一、甲斐の國 み中に建ちて

古へゆ 雄心傳へ

新しき 世の鑑とし

勉めてむ この學舎に

二、日に新た また日に新た

彌高き のぞみをもちて

眞なる 理究め

勵みなむ 若人我等

三、聳え立つ 芙蓉の高根

清き哉 甲斐の山川

もろともに 玉と磨きて

賛くべし 天地の化育



日新鐘に寄せて

東京同窓会

会長 清水 昭



今年の東京同窓会総会・懇親会は『心のよりどころがある限り、集う心、広がる未来』をテーマに昭和61年卒中村哲也当番幹事長・学年幹事が周到な準備を重ねてきた。

昨年は昭和60年卒 古川淳大当番幹事長・五味晴彦事務局長のもと、四百名近くの同窓生に参集いただき、丸一仙三・仙花夫妻による太神楽舞台、応援練習と内藤多仲先輩・早川徳次先輩の紹介ビデオ等を聴きながら、幹事が工夫した名札を付けて参加者が相互に交流を図ることができた。

数年ぶりに校歌と応援歌を声高らかに歌っていた同窓生の満足気な顔が忘れられない。チームロクゼロと役員、学年幹事とご参会の同窓の皆様は心から御礼を申し上げる。

東京同窓会として母校に寄与することを、寄付という形だけではなく、生徒達との語り合いの機会を持ちたいと考えていたところ、安達徹前校長から一深国際会議『山梨でグローバルサウスを語ろう!』を2023年9月23日(土)に開催したいので講師推薦の要望を頂いた。

当日は、基調講演に森は恋人運動の創始者で牡蛎漁師の畠山重篤さんを迎え、志村昌也顧問(貧困)、中嶋文夫副会長(外交)、島田敏男氏(戦争)、畠山重篤氏(環境)を各分科会の助言者をお願いして会議に臨んだ。

会議は交流がある県外二高校と海外二高校とをオンラインで結び、一高生は120名が参加した。

基調講演で畠山さんは、森林の腐葉土でつくられる「フルボ酸鉄」が川から海に流れ、牡蛎・ホタテ、魚介類などの餌となる植物プランクトンが豊かになること、豊富な植物プランクトンによる海中の光合成は地球温暖化対策につながるとの見解から、「森と川と海の関係を自然に近い形にしておくと」という意識を持ち続けることが大事」と結ばれた。

その畠山さんは去る4月3日に、「大丈夫」という言葉を残されて、81歳の生涯を終えられ天に召されていかれた。

畠山さんの講演を聞かれた生徒たちの心に木が植えられて、環境問題に興味と感心を持ち続けることを心より祈念する次第である。



ご挨拶

甲府第一高等学校

校長 飯島 清樹

甲府中学・甲府第一高等学校第65回東京同窓会が、当番幹事の皆様と役員の方々のご尽力により、「心のよりどころがある限り、集う心、広がる未来」のテーマのもと、このように盛大に開催されますことを心よりお慶び申し上げます。私ごとになりますが、今春二人の娘が大学進学を決め、飛び出すように家を後にしました。彼女らがいた

部屋を見ると、これが私の心のよりどころだったなと気づきます。家にいたときよりも家を出て行った今の方がむしろ娘たちのことを考えます。同窓生の皆様も山梨を離れているからこそ、故郷のことを考え、母校の事が気になるのではないのでしょうか。いつも母校のことを気に掛け、本校の教育活動に対し、ご理解とご協力、またご支援をいただきまして心から感謝申し上げます。

最近の母校の状況を紹介させていただきます。部活動では中国インターハイに山岳女子・弓道女子の2つの部が出場予定、文化部は今年度香川県で行われる全国高校総合文化祭に7部門で出場します。進学においても今春の卒業生は、国公立大学合格者113名、私立大合格者414名と健闘し、このところ安定した実績を残しています。

令和5年度より文部科学省より指定をいただいていた「ワールドワイドラーニングコンソーシアム構築支援事業」も今年が最終年度で、まとめとなる国際会議や成果発表会「ブランドサミット」などが控えています。今年度は普通科においても探究活動に取り組んでおり、ブランドサミットに普通科の特徴的なチームが発表できればと考えています。

このように探究を軸に置いた学校として、「世界に漕ぎ出す知の冒険者たれ」という目指す生徒像を掲げ、我々教員も生徒と共に探究の階段を上って行きます。生徒たちは、日々成長し、社会に貢献できる人材になるべく、すべてに全力で取り組んでいます。

同窓会の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

るとともに、東京同窓会の益々のご発展と皆様のご健勝を祈念しまして挨拶いたします。



ご挨拶

東京同窓会 令和七年度

幹事長 中村 哲也

第65回甲府中学・甲府一高東京同窓会の開催にあたり、当番幹事の昭和61年卒、平成15年卒を代表してご挨拶を申し上げます。

本日の同窓会を準備するにあたり、清水昭東京同窓会長をはじめ東京同窓会役員の皆様、東京ならびに甲府での同窓会当番幹事を務められた同窓生の皆様、そして同級生の皆さんからの多大なるご支援並びにご指導を賜り進めることができましたことを心より感謝申し上げます。また、本記念誌への広告・協賛金のご協力、並びにご来場いただきました皆様に厚く御礼申し上げます。

本年の東京同窓会のテーマは「心のよりどころがある限り、集う心、広がる未来」としました。

昭和61年卒の私どもは、バブル経済の足音が聞こえ始める頃、甲府一高を卒業しました。何事にも樂觀的と言われたバブル世代の私どもですが、故郷（山梨）を離れて都会で時にくじけそうになりながらも、今日までがむしゃらに頑張ってきた。同窓会準備を進めてきた2年間の中でふと振り返ると故郷（心のよりどころ）が頑張る力の源泉だったと感じ今回のテーマとしました。そし

て本日ほんのひと時ではありますが、この会場で甲府一高を中心点に同窓生が懐かしく心をひとつに集めて楽しい時間を過ごしていただき、また明日から更なる未来に踏み出す力の源泉になれたらと思います。

さて、私が当番幹事長（東京部会長）を拝命したのは、私どもが甲府の同窓会での当番幹事の準備が始まった9年前になります。家族との夕食時に鳴った電話からすべてが始まりました。当時、幹事長を務めていた鈴木君（現在、甲府同窓会副会長）から「中村、東京部会長やってよ。東京に住んでいる同級生たちの窓口だよ」と極めて軽い口調で依頼され、こちらも極めて軽い気持ちで引き受けてしまいましたが、次第に事の重大さに気付いた時には既に手遅れでした。高校時代から勉強でもスポーツでも目立たなかった私でしたので、用意周到に物事を進める力、人望や組織をまとめる力があるとは到底思えず、無力感と逃げ出した気持ちでいっぱいになりましたが、大変貴重なご縁を得ることができましたこと、そして何よりも無条件で力強く支えてくれた東京と甲府の仲間たちがいて、関係するすべての皆さまの力を頂きながら、本日を迎えられることはかけがえのない宝物になりました。感謝の気持ちでいっぱいです。

結びに甲府一高ならびに東京同窓会の益々のご発展と、本日ご参集いただきましたご来賓、同窓生の皆様方のご多幸とご健勝を祈念申し上げますとともに、次期当番幹事となります昭和62年卒の皆さんにエールを送らせていただき挨拶とさせていただきます。

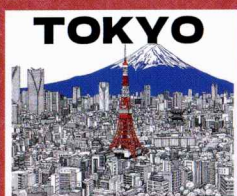
本日は誠にありがとうございました。

記念誌 日新鐘 Vol.31

心のよりどころがある限り
集う心、広がる未来

山梨ブランドサミットに参加	4
同窓生が集えるお店の紹介	12
一紅会「日新鐘」に寄せて	16
甲府一高湘南同窓会出席レポート	17
あおぞら共和国を支援する	18
広告	20
編集後記	48

第65回
甲府中学・甲府一高
東京同窓会



山梨ブランドサミット に参加!!



山梨ブランドサミット

2025年3月20日甲府一高で
「2025年山梨ブランドサミット」の発表会開催
プログラムには、

- ・ 文部科学省指定事業の「WWLコンソーシアム構築支援事業」
- ・ 「やまなし創世」に資するALネットワークの構築、
- ・ 「山梨から世界を変えていく人材」・・・

何か難しそうな発表会のようなだが・・・





2025山梨ブランドサミット(探究科発表会)日程表 (裏面)校舎配置図



探究科サミットキャラクター とびら

8:50~9:30	午前受付
9:30~10:20	午前全体会 会場:体育館 ①校長・リーダー挨拶 ②来賓/招請校紹介 ③探究科事業報告 ④台湾販売実習報告 ⑤交流発表会(フィリピン University of Cebu Baniled Campus 北海道北見北斗高校)
	移動
10:30~12:00	分科会 (各学年の発表会にご参加ください) 下記一覧および別添「生徒発表概要一覧」参照 ①10:30~10:45 (移動) ●発表時間は各学年5分程度です。その後、質疑応答タイムとなります。積極的に意見交換をお願いします。なお、2年生は英語による発表となります。 ②10:55~11:10 (移動) ●南館1階会議室にて3年生論文、ポスター、2年生レジュメ、1年生ポスター等成果物の展示を行っています。お気軽にお越し下さい。 ③11:20~11:35 (移動) ④11:45~12:00
12:00~12:40	昼食 午後受付(12:10~12:40) ●WWL運営指導員・コンソーシアム推進委員、WWL検証委員、学校運営協議会委員の方々は校長室へご移動ください。 ●来賓・保護者・一般参加者の方は南館2階の3-1、3-2、3-3教室へご移動下さい
12:40~15:30	午後全体会 会場:体育館 ①来賓/招請校紹介 ②招請校発表会 (山梨大学教育学部附属中学校、甲府西高校、日川高校、笛吹高校、山梨英和高校、甲府南高校) ③甲府一高各学年代表発表 ④調評 ⑤終わりの言葉 閉会 ●アンケートにご協力下さい

体育館で
山梨ブランドサミットがスタート!
(探究活動発表会)

HELLO EVERYONE!

えっ?

司会の挨拶が英語。
しかも発音が流暢だ・・・



「やまなし創世」に資するALネットワーク DOOR 一扉を開いて R6.5



ALネットワーク

(アドバンスト・ラーニング)



山梨から世界を変えていく人材

- ・常に問題意識を持ち多様な人々と新たな価値を共創する人材
- ・グローバルな視野を持ち持続可能な社会づくりを牽引する人材
- ・具体的な提案や活動により「やまなし創世」に貢献する人材

中長期目標

やまなし創世ネットワーク創設
国境を越えた合同カリキュラムの実施
高校生国際会議の定期開催と海外実施
個別最適化された高度な学びのシステム構築

令和7年度

- ・ALネットワークの拡大
国内連携校8校以上、海外連携校5校以上
- ・多様な合同プログラムの実施
海外連携校との合同カリキュラムの実施に向けて
海外長期留学生の年間6名以上の受け入れ
- ・高校生国際会議の開催
グローバルな視点と英語で議論する力の向上
- ・探究深化(学校設定科目)の開設
個々のニーズに応じた高度な学びの履修システム構築

ALネットワークの構築・整備

- ・探究活動のデータベース化 (これまでの実績・ノウハウの共有)
- ・連携校専用サイトによる情報共有 (令和5年度開設)
- ・教員研修会の実施 (年1回以上の実施)

国境を越えたプログラム(拠点校)

- ・海外研修・短期留学の再開
- ・海外連携校との合同プログラムの実施
- ・県内在住の大学留学生と英語で学ぶ授業・探究活動の実施

高校生国際会議開催に向けた準備(拠点校)

- ・先進校への依頼、生徒実行委員会の設置
- ・令和6年度 ALネットワーク内での高校生国際会議の開催

高度な学びの提供(拠点校)

- ・JMOC等のオンライン講座の活用 (令和5年度より土曜学習会で実施)
- ・大学教育の先取り履修等の活用
(山梨県立大学 [PENTAS] の講座を活用した先取り履修の促進)
- ・大学協働機関からの高度な学びの提供
(山梨大学・山梨県立大学 [SPARC]、山形大学 [SEPS] と連携)
- ・アントレプレナーシッププログラムの活用
(山梨県立大学 [PENTAS]・山形大学 [i-HOPE] との連携)

拠点校の実績

- SGH校 県内唯一の探究科
- 地域との協働による高等学校教育改革推進事業 (グローバル型)
- ・「グローバル探究」の開発研究 (9年間)
- ・産学官民のコンソーシアムの構築
- ・ブランドサミットの実施「探究科2年生は英語成果発表」

課題

- ・教員間の目的やノウハウの共有
- ・探究を深化させる高度な学びの提供
- ・コロナ禍で国際交流の機会の減少
- ・英語で議論する力の育成

アップデート

- ・探究顧問研修会の実施
- ・大学教育の先取り履修とJMOC等のオンライン講座の活用
- ・海外研修の再開、県内在住の大学留学生との合同授業の実施
- ・高校生国際会議の開催、海外連携校との合同プログラム実施

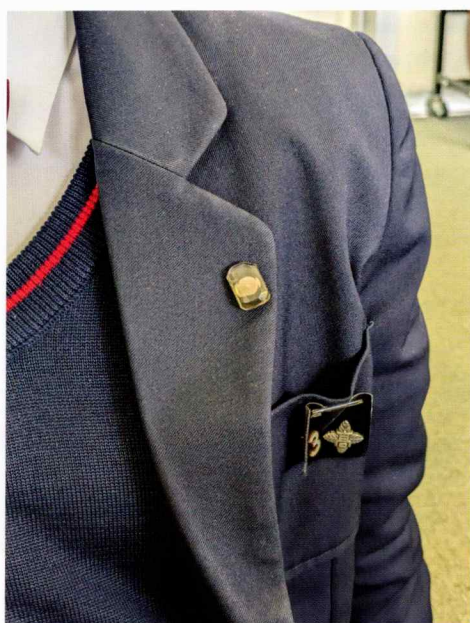


check



2年生の発表は全て英語

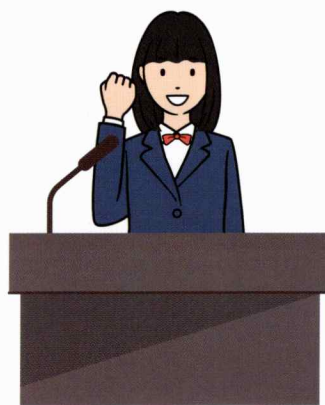
会場は2年4組の教室。約40年ぶりの教室
あれっ？教室ってこんなに狭かったっけ？
と昔を懐かしんでいる間に、分科会の発表がスタート



ジュエリーは宝石専門学校の協力

一高生が制服に
ジュエリーをつけることで
宝石の町をアピールしたい！

とのプレゼンテーションでした。



若者には甲府が宝石の町であることがあまり知られていない。

2年生
5班

山梨の宝石産業でまちづくり

(宝石班)

に参加!!

QA 質疑応答

では

高校生が宝石をつけるって
悪い印象にならない？

そういう観点には気づかなかったです。
貴重な意見をありがとうございます！

というやり取りがありました。

各分科会のショートプレゼン
テーション発表6分、
質疑応答を含めて全体で15分



← 当日の
プログラムは
こちらから

約40年前

昼休みは12:00～だったような
記憶があるのだが・・・？

Revitalization of Yumura Onsen



3年生
3班

湯村温泉協会のコラボ
湯村温泉の活性化

湯村温泉協会のコラボ

Q

3年間の探究活動で学んだことは？

① 目的意識を持つ

② 社会とのつながりを大切に

③ 将来やりたいことの具体化

の3点

授業時制表

予 鈴	月～木	金
	8:25	
1 校時	8:30～ 9:25	
2 校時	9:35～10:30	
3 校時	10:40～11:35	
4 校時	11:45～12:40	
昼休み	12:40～13:20	
S H R	13:20～13:30	
5 校時	13:35～14:30	13:20～14:15
6 校時	14:40～15:35	14:25～15:15
掃 除	15:35～15:50	15:15～15:30
7 校時	15:55～16:50	

教室に張ってあった
授業時制表

「目的意識」という
ワードが発言される
一高生のレベルに驚愕



湯村温泉に若い世代の集客数を増やすにはどうするか？

check



アンケートによる研究の結果、
若者の日（日帰り料金の割引）年間パスポートの提案を予定



1年生
4班

スポーツで経済を回す

フレッシュな発表で
今後のさらなる
検討が楽しみ！



Driving the Economy Through Sports



地域密着型のスポーツチーム

- ・地元企業とのスポンサーシップ
- ・自治体との連携が盛ん



地元経済を支え共存するモデルを
築くことの重要な要素

富士山周辺のムスリム観光客の
オーバーツーリズム対策として

check



ハラル認証取得の和菓子（大福）でムスリム
観光客を甲府に呼び込む！

Tourism in Yamanashi for Muslims

Group 7 Sakika Uchikawa Sawa Oki
Koyo Furuya Michiya Ushiyama



ブランドサミットの参加後、
実際の探究活動を生で拝見したいという思いが
沸々とわいてきて、追加の取材を申し込んだ。
飯島校長先生の了承をいただき、探究推進主任
の松尾先生のアテンドのもと、
追加取材開始！



3年生
5班

甲府市の観光とムスリム

山梨県庁の観光推進会とのコラボ

／一高生の発表は

午後の部は提携校の発表からスタート 海外からもオンラインで参加



探究活動の時間帯は

1、2年生は、金曜日の
4校時(11:45 ~12:40)と
5校時(13:20~14:15)
3年生は、5校時のみ



和気あいあい!!



全体連絡 先生から今後のイベントの説明

4校時

2年生は視聴覚室に集合
チームごとにセッション開始



そのアイデア
いいね umbs up

5名前後で構成されるチームメンバーは
近くの席に座り、グループセッション!
付箋紙を使ったり、パソコンを使いながら、
生徒が積極的に意見交換



チームに帯同している先生は、積極的に指導するのではなく、生徒の自主性に任せて議論させ、生徒が困った時の相談にのり、軌道修正をされていた。

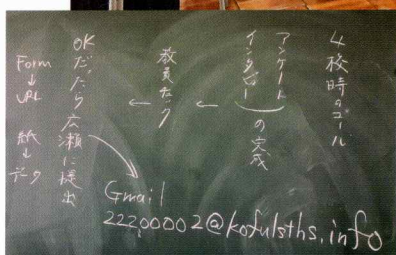
← 1年生の教室に移動

「アンケートの初めの設問って
農業に興味がありますか？」で
いいのかな？



「いいんじゃない」・・・

アンケートが完成したら
先生に提出！



1年生は4人5人のチームごとに、
「農業」に関するアンケート資料を
アイデアを出し合いながら作成

5校時

3年生は
音楽室に集合

ブランドサミットの分科会で
発表を聞いた『宝石班』を追加取材
発表会からの進展が楽しみ・・・

宝石班では
公的期間・企業に向けて、
自分たちのテーマの売り込みの
提案書について議論



チームごとに集合

宝石産業に対する誇り、愛着、アイデンティティ、若者の
関心度向上というワードが飛び交う真剣な意見交換が展開

メンバーの意見

このテーマの活動を
一高の新たな伝統にしたい！

このテーマをきっかけに
一高に入学してくれる生徒が
増えるといいなあ・・・





宝石班

初めは遠巻きでの取材でしたが、
熱い議論に引き込まれて、
つつい輪の中に入っていまい。
がつつりと参加してしまいました。
とても楽しい追加取材でした。



\\ おまけ //



野球部バックネット
ラグビーのゴールポストが
なくなっている (悲)



部室は昔と変わらない・・・



同窓生が集えるお店の紹介

Places to meet, talk, and enjoy good times.



都内のお店

魚よし

神谷町駅2番出口すぐの場所にある海鮮居酒屋。名前の通り、魚（特に本マグロやアジフライ）が美味しいが、他のメニューも一品一品が工夫され、美味の集大成となっている。3階フロアーは宴会部屋があり、利用するには嬉しい場所である。



店から通りに出たら、東京タワーが目の前に

【レポート | Reports】

これまで、飲みながら食事をして終わりだった居酒屋の概念が、このお店に来て覆りました！お話を耳を傾けながら味を堪能し、ゆったりとした時の流れを楽しめるのです。店主の語り、いろいろな話をしてたのんべえの父を思い出させてくれ、本来の美味しいお酒の飲み方に気づかせてくれました。落語も定期的にお店で上演しているとのこと。目を合わせて話すことによって、共感の瞬間や広がりが出ていくお話を存分に楽しむことができました。



先輩ご夫婦と

店主のご主人と共にお店を盛り立てている先輩。ご夫婦とても仲がいい。そんなお二人の心のよりどころはお客様・家族でした。

魚よし

東京都港区虎ノ門5-2-8
加賀ビル
TEL 03-3433-5611

都内のお店

いざかや甲州屋

あわびの煮貝に山梨地酒、優しい味わいのほうとう、山梨ワインは気軽に呑むのが一番！



【レポート | Reports】

本日のオーダーは山梨つくし。あわびの煮貝に鳥もつ煮、甲州ワインはマルサン葡萄酒の「甲州百」をチョイス。このワインが置いてあるとは驚きです。勧められた料理「山梨県産ほしぶどう」と「ブドウの新芽の天ぷら」。初めて食べたブドウの新芽は絶品。地酒は「七賢、春鶯囀、笹一、谷桜」といろいろありましたが、あえての「青煙」、たまらん、隣席のサラリーマン風お客さんの会話も甲州弁、なんて贅沢なBGMだろう。厚切りの馬刺しも美味い！最後はほうとうでシメさせていただきました。山梨を十分堪能した帰りは満員の中央線、否応なく東京の生活に連れ戻されてしまいました。



いざかや甲州屋

東京都新宿区神楽坂3-2-56
TEL 050-5486-1484
(定休日:土日祝日)

同窓生が集えるお店の紹介

Places to meet, talk, and enjoy good times.

九十歳近くなのに大変元気な女将さんにインタビューしてきました。

どんなに仕事が大変でも、お客様が喜んでくれるのが、私の使命の心のよりどころだと思ふ。



都内のお店

割烹 甲州

明日への活力が湧くお店

塩山出身で、埼玉のお魚屋さんで結婚し経験を積んで、今の練馬に移ってきたとのこと。また昔からのよしみで、お魚屋の下請け会社との付き合いがたくさんある分、新鮮なお魚を提供出来ると。割烹と言うと、食材のこだわりも含まれ高いイメージがあるが、ここはボリュームもあり、二千円台で満足するまで美味しくお食事出来る。



割烹 甲州

東京都練馬区練馬1-29-13

TEL 03-3991-7135

【レポート | Reports】

マグロの赤身を食べて、大きく頷きました。間違いなし！大気のごぼうサラダも、箸が止まりません。

お料理と共に傍らに女将がついて、美味しい食べ方を教えてくださいました。お料理に舌鼓を打ちながら、女将の歴史を感じさせる話を聞いて、自然と気合いが入りました。



都内のお店

神楽坂 ルバイヤート

甲州の味香る すてきな空間

山梨勝沼の丸藤葡萄酒工業の「ルバイヤート」ワインを直送で仕入れ、ワインを楽しんでもらうためにピッタリな山梨の食材・旬のものを用意

【レポート | Reports】

メニューを見ると、甲州産の文字がいっぱい。嬉しくなっちゃいます。

ソムリエの方がいらっしゃるので、お料理に合わせたワインを提案してくださいました。特に「ビーフステーキ」（写真）は最高！ルバイヤートのワインを使った赤ワインソースステーキ



神楽坂通りから一本脇道を入った隠れ家風な落ち着いたお店



お料理に合わせたワインが充実、時間がたつのを忘れてしまうほど



神楽坂ルバイヤート

東京都新宿区若宮町10-7

TEL 03-5228-3903

都内のお店

旅をして出会った酒

日本酒バル

酒と生きる

その土地の美味しいお酒との出会いがきっかけで、お店を始めたオーナー。（甲府出身）
『酒と生きる』は、社訓と同時に心のよりどころともなっている。



【レポート Reports】

店に入った途端、賑やかな笑い声が。店に入ると、大きな棚にいろいろなお酒が飾られていて圧倒されました。

その土地土地のお酒や人との出会いを大切にできたオーナー。復興を支援する温かい気持ちで、お店の居心地をよくしているのでしょう。お料理と共にいろいろな種類のお酒を楽しむことができました。



府中を中心に“〇〇バル”系列店を拡大している。



お刺身は、震災や火災で甚大な被害を受けた岩手県の大船渡から取り寄せたもの。

日本酒バル
Tokutouseki

東京都府中市宮西町2-11-11 2F

TEL 042-369-3142

山梨のお店

桜木乃舎

お庭で収穫した
山菜の天ぷらや、
もつ煮の前菜も美味
もちろん蕎麦は絶品！
S36卒の同窓生の集いの場です。



そば処の前の
樹齢100年の
太白桜が店名
の由来



桜木乃舎

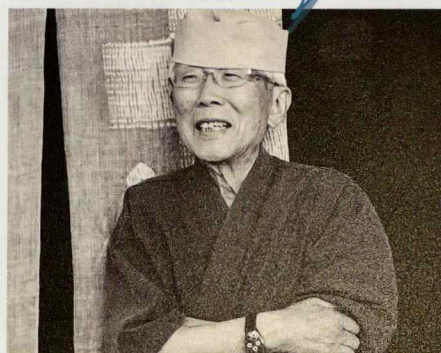
山梨県北杜市高根町下黒澤2045

TEL 0551-45-8166

予約は4名以上（10名未満）で
お願いします

【店主中澤さんより】

一高の思い出は遠い
遠い昔の事なのでほん
やりしてしまつて浮か
んでこない：（笑）
生きがいは蕎麦打ち
を続けて日々健康で過
ごすこと



店主：中澤輝仁さん（S36卒）

山梨県庁定年退職後、公益財団法人の役員、
国会議員政策秘書のお勤め後、幼少を過ごさ
れた古民家に戻られ、第4の人生で1日1組限
定の手打蕎麦処「桜木乃舎」を開業



同窓生が集えるお店の紹介

Places to meet, talk, and enjoy good times.



2024/4/6の開店直後
S61卒の同窓生が集まりました！
※オーナーは右端



豊富な種類のお酒を楽しめます。カラオケもどうぞ！



店の前の駐車場の青色のコーンが目印？(笑)



BONDS_MASTER
Instagram

山梨のお店

Bar Bonds

人と人をつなぐ、「絆」(店名の由来)

Bar Bonds

山梨県中巨摩郡昭和町
清水新居1370 牧野貸店舗7
TEL 070-4008-8880
(内藤)

【オーナー内藤昇さん(S61卒)】

一高在校時の思い出は？

強行遠足！

先輩に助けてもらって／後輩を
助けながら小諸を目指したあの
「絆」は一生の思い出でかけが
えない財産

心のよりどころは？

ウチのお店！ Bar Bonds

同窓生が集まって楽しく話をし
ながら昔を懐かしんでもらえる
とうれしいです



2025/5/17甲府同窓会の2次会で
S61卒メンバーが集まりました。

山梨のお店

心音 KITCHEN

石和にあるお洒落な洋食屋さん
なんといっても絶品は・・・
特製ビーフシチュー(和牛)
そういえば我が家の夕食に
ビーフシチューが出てこなく
なった・・・(笑)



心音 KITCHEN

山梨県笛吹市石和町井戸81-1
TEL 055-262-9711



食後はクレームブリュレ！

Special beef stew

ソースが美味しくて
お皿に残しておくのが
もったいない



特製ビーフシチュー (和牛)



ポークソテー



心音ハンバーグ

マスター 齊藤好雄さん(S52卒)
美枝さん(S61卒・旧姓向山さん)
いつもごちそうさまです！



「日新鐘」に寄せて

一紅会会長 峯川 文江

3月8日「第26回春の講演会」をアルカディア市ヶ谷にて開催いたしました。

天気予報では、当日は気温が10度に満たない寒さの上に、夕方からは雪になるとのこと、参加者の出足が前日から気になりました。更に当日配布資料の準備をしていると、中央線の特急「あずさ」「かいじ」が16時から運休になるとの情報も入り、キャンセル者の増加を覚悟しましたが、受付が始まると、笑顔で集まって下さる方々の様子に心配は吹き飛びました。

講演会では、講師・富山美由紀氏のお話に引き込まれ、ご持参のキーボードに合わせて、ストレッチ体操では上着を脱ぐ方、口腔体操では子供の頃に帰ったようにほほを膨らませる方、「故郷（ふるさと）」の大合唱に涙ぐむ方等の姿もあり、「音楽脳トレで楽しく若く記憶力アップ」まさに、音楽の持つ力は「凄い！」と改めて感じました。

懇親会は和やかに始まりましたが、甲府から参加された方々は中央線が運休になるという情報に、早々に帰られてしまい、残念かつ申し訳なく思いました。それでも講師を交え、先輩後輩の

垣根を超えて語り合い、笑い合い、懇親を深めることができました。甲府同窓会実行委員は5月甲府同窓会のチケットの販売を、東京同窓会当番幹事は東京同窓会のイベントのお知らせを、湘南同窓会事務局は5月の開催予告を、あおぞら会は会費徴収や募金活動など、各団体がそれぞれの活動を宣伝するのも一紅会懇親会の名物風景であり、甲府一高同窓会の活動の大きな柱にもなっていると感じました。

女性のネットワーク拡大を目的に、女子第一期生である昭和28年卒の先輩方が中心となり、平成7年に立ち上げられた「一紅会」ですが、平成4年卒以降の後輩へは、都内在住者が少なかったり、同期の繋がりが途切れていたり、引き継ぎが難しいのが現状です。女性のネットワークを作り広げるという目的は達成されつつありますが、継続が今後の課題となってきました。微力ではありますが、よき伝統を受け継ぎながら、若い世代に引き継いでいきますよう活動して参りたいと思います。今後とも一紅会へのご理解とご協力を切にお願い申し上げます。

第26回 甲府一高湘南同窓会出席レポート

小学校3年生まで茅ヶ崎に住んでいたこともあり、久しぶりの湘南にワクワク・ドキドキ。遠足前の少年のような気分で「第26回甲府一高湘南同窓会」に参加しました。

令和7年5月24日(土)会場は藤沢市の湘南鎌倉クリスタルホテル卒業年で昭和39年から昭和61年までの幅広い年代の同窓生 27名が集まりました。丹沢富雄会長のご挨拶の後、校歌斉唱！自然と歌詞が出てくるのは、あの応援練習のおかげでしょうか。

食事をしながらの懇談では、先輩・後輩の垣根を超えて近況を語り合い、大いに盛り上がりました。

今回のサプライズ企画は、令和6年度の文化功労者として顕彰された五味文彦さん(卒業年：昭和39年)のご講演でした

五味さんは日本の中世史研究の第一人者であり、著書・論文多数、教科書の編集にも携さわれておられます。生い立ちからこれまでのご功績をご紹介いただき、その偉業に感銘を受けました。後ほど、拝受した2冊の著書をじっくりと読み込むことが楽しみです。

さらに横澤良次さん(卒業年：昭和42年)のフルートとピアノの演奏のご披露も。美しい音色が響きわたり、会場全体が華やかに包まれました。

楽しい時間はあっという間に過ぎ、閉会時刻となりました。名残惜しみながらも記念撮影を行いました。

参加者のみなさまがとても活動的であることを実感し、

「湘南同窓会」のこれからの発展を確信しながら帰路につきました。



記念撮影



五味文彦さんご講演

甲府一高湘南同窓会 WEBサイト

<http://ichikoshonan.livedoor.blog>



甲府一高
あおぞら会

あおぞら共和国を支援する

甲府一高あおぞら会

甲府一高同窓生のみなさん、山梨県北杜市白州町に「甲府一高」の冠が付いた（発足当時の校長先生にも承諾をいただいた由緒正しい団体）「甲府一高あおぞら会」が支援する「あおぞら共和国」という施設があることを知っていますか？

東京同窓会や一紅会講演会で「甲府一高あおぞら会」のブースでご存じの方も多いと思います。

今回、すべての同窓生、在校生のみなさんに「甲府一高あおぞら会」がどうして発足したのか、どのような活動をしているのかを少しでも知っていただきたいと思っています。

「あおぞら共和国」、ここは難病あるいは障害を持つ子ども達とその家族が休息するためのレスパイト村です。認定NPO法人、難病の子ども支援全国ネットワークが建設し、運営している施設です。

難病の子供たちの多くは、人工呼吸器や

酸素吸入が必要ななどの理由で遠足や修学旅行の経験がないことが多く、また、その家族、特に24時間365日、こどもの介護に当たっているお母さんの休養（レスパイト）が必要であることからできた施設です。

ところで、みなさんはSSPE（亜急性硬化性全脳炎）という疾患をご存じでしょうか。麻疹感染後にウイルスが脳内に持続感染し、数年の潜伏期間を経て進行性の神経症状を呈する疾患で、2歳未満に麻疹に感染した症例が多く、麻疹患者の十万人から数十万人に一人と極めて稀な疾患です。

私も「甲府一高あおぞら会」に入会するまで、「なぜ麻疹に罹っただけでニュースになるだろう」と思っていました。甘酸っぱい恋や反抗期のように、誰もが一度は若い時期に経験するものの比喩表現で「麻疹のようなもの・・・」とよく聞き、口にしていました。しかし、この疾患の恐ろしさを知ってか



ら予防接種の重要性、特に予防接種対象から外れていた私たち世代の男性の抗体検査と予防接種の必要性に気付きました。

そして、麻疹に罹ったことも忘れかけた学童期になって徐々に運動障害等が進み、介護をする両親、特にお母さんの愛は偉大だと、表面的かもしれませんが、思い知りました。

だから、たった2日か3日だけかもしれないですが、こども達はもちろん、お母さんに休息してもらえろお手伝いをしたいと思うようになりました。

いま「あおぞら共和国」の実行委員をされている田伏純子さん（昭和44年卒）のお嬢さんもまた青春真っただ中の高校二年生の時、突然、SSPEを発病してしまったそうです。

そして、そのころ、「あおぞら共和国」構築を目標とする、みんなのふるさと「夢プロジェクト」の発起人で、構築・運営に深く関わっていた小児科医の小口弘毅さん（昭和45年卒）が一紅会講演会（2013年3月）で山梨県北杜市白州町に難病のこども達のためのキャンプ場を建設している講演をされ、田伏さんもそのプロジェクトについて語り、この講演会を機に「活動を支援する会」が立ち上がり、甲府一高同窓生から発信

して、輪を外に向け更に大きく大きく広がっていき、と大きな期待に胸を膨らませて、「あおぞら共和国」を支援する「甲府一高あおぞら会」が2014年2月15日に発足しました。

また、「甲府一高あおぞら会」では、強行遠足を経験した同窓生ならではの春と秋のチャリティーウォーク（10km近く歩きます）や「あおぞら共和国」施設の草刈りを通して、こども達とその家族の笑顔がさらに大きくなってもらえるよう、そして、こども達やその家族から自分たちも笑顔をももらえるよう、楽しく活動しています。

新生児医療の目覚ましい進歩によって、助かるこども達が増え、飛躍的に増えた一方、命はとりとめたものの、治療困難な重度の障害を持つこども達、一定の確率で発症する遺伝的疾患を持つこども達がいることを、特に、これから親になる若い同窓生のみなさん、在校生のみなさんに知っていただきたいと心から思います。

そして、一人でも多くの同窓生・在校生が「甲府一高あおぞら会」の仲間になっていただき、難病あるいは障害を持つこども達とその家族が取り残されないよう、「協力できる時に、協力できること」を、仲間で楽しく協力していただければと思います。

甲府一高あおぞら会 Web

<https://ymkp.net/aozora/>



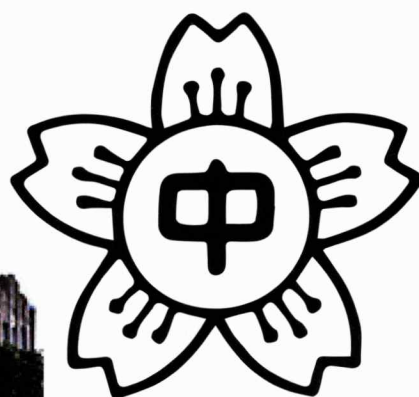


祝

第65回 甲府中学・ 甲府一高東京同窓会

来年の東京同窓会も宜しく願い申し上げます

2026年東京同窓会当番幹事 甲府一高昭和62年卒業生一同



協賛会社協賛者 (敬称略)

本年も多数のご協賛をいただき、
誠にありがとうございました。

- アソシアコーポレーション(株)
三浦 博美 (昭和58年卒)
- 安達実名美 (昭和58年卒)
- 池田 秀雄 (昭和43年卒)
- 石井 孝明 (昭和57年卒)
- 石山 利男 (昭和43年卒)
- 石山 厚子 (昭和46年卒)
- 打越FC
- 円明寺
- 住職 小林 康洋 (平成元年卒)
- 荻野 正吾 (昭和59年卒)
- 河西 弘人 (平成元年卒)
- 金井 芳朗 (昭和61年卒)
- (有)貢川観光産業

- (株)グランドスラム甲府
- 小泉 敦夫 (昭和29年卒)
- コニカミノルタ(株)PPH開発管理部
- 小林 信雄 (昭和61年卒)
- (有)サイキ商事
- レストランバーSAIKI
斎藤 雅司 (昭和63年卒)
- さいとうクリニック
- 齋藤 昭人 (昭和47年卒)
- 齊藤 透 (昭和60年卒)
- 桜木之舎
中澤 輝仁 (昭和36年卒)
- 佐野 直樹 (昭和54年卒)
- 島田 敏男 (昭和52年卒)
- 昭和59年卒業生一同
- 昭和61年卒3年1組有志一同
- (株)昭和鉄工
板橋 明好 (昭和61年卒)
- 神宮寺 聡 (平成元年卒)
- 田中 美和 (昭和59年卒)
- 谷口百合子 (昭和36年卒)
- 201ゴルフ会

- 樋口 正俊 (昭和61年卒)
- 日野台ファイフティールFC
- 降矢 賢之 (平成元年卒)
- 平成元年卒業生有志
- 本多 明美 (昭和60年卒)
- みかみ歯科医院
三神 厚 (昭和48年卒)
- 三神 智美 (昭和50年卒)
- 南牧スキークラブ首都圏チーム
代表 大澤 敬造 (昭和59年卒)
- 三谷 恒行 (昭和26年卒)
- 望月国際特許事務所
望月 義時 (昭和41年卒)
- 諸平 秀樹 (昭和30年卒)
- 矢野 秀樹 (昭和52年卒)
- 山村 勇司 (平成元年卒)
- 山本 秀彦 (昭和41年卒)

日新鐘2025

広告目次 (敬称略)

本年も多数の広告掲載
誠にありがとうございました。

● アース・リサーチ有有限会社	36
● IJ POWERS (株)	44
● (有) アウテリアあかざわ	42
● 青柳広美 (真上奈津子)	46
● 一級建築士事務所	
● アクシスアーキテクツ	39
● (株) アセッツアールアンドディー	44
● (有) アンリミット・ジャパン	39
● 飯田鉄工 (株)	27
● いざかや甲州屋	44
● 石黒工務店	43
● 合同会社 イズマタ	47
● (株) うちだ	44
● 内田クリニック	35
● 大泉はなわクリニック	40

● (株) 乙黒	43
● 甲斐國河内領一宮賀茂神社	23
● (有) キタムラ	43
● GRACE WINE	32
● ケイカンパニー	47
● (株) 警備サービス輝	43
● (有) 甲州工業	23
● 河野スポーツ (株)	47
● 甲府一高あおぞら会	42
● 甲府一高空手部有志	45
● 甲府一高湘南地区同窓会	42
● 甲府一高東京50会	41
● 甲府一高東京51会	33
● 甲府一高59会	31
● 甲府下石田食堂	46
● 国際建設 (株)	39
● 五光電工 (株)	38
● 小島精肉店	46
● (株) コスモエナジー	41
● さいとうクリニック	45
● 佐野工業	46
● 茶房どんぐり	47

● (株) サンテック	45
● 山日YBSグループ	43
● (株) シオザワ	44
● (医) 慈広会	
● 介護老人保健施設メイプル	40
● 清水喜彦 (山梨県人会)	43
● シミックホールディングス	36
● 医療法人社団 鶴志会	
● 伴野内科クリニック	41
● (株) SHOEI	44
● (株) 少國民社	33
● 昭和42年卒業生一同	45
● 昭和61年卒業生一同	表 3
● 昭和62年卒業	20
● (有) 水質メンテナンスアクア	28
● 須貝整形外科	47
● 鈴木製菓 (株)	30
● 住友不動産 (株)	45
● (有) 太陽設備システム	38
● 大丸商事 (株)	45
● 泰和電気工業 (株)	39
● (株) 高野塗装店	42

● (株) タカラレーベン	41
● 武田神社	38
● (株) たけまる	44
● TEAM57TOKYO	39
● TEAMロクゼロ東京	29
● Chikako Dance	
School	46
● (株) でり坊	45
● 東京三五会	41
● 東京四四会	34
● 東京47会	45
● 東京49会	40
● 東京53会 (昭和53年卒業生一同)	37
● 東京一高S58	31
● 東和	44
● (株) 常磐ホテル	36
● 都立大ペインクリニック	40
● (株) 内藤ハウス	38
● (有) 中川看板店	44
● 中澤経理事務所	44
● (株) 中嶋文夫+D・A設計事務所	42
● 201ゴルフ	37

● 日星 (株)	43
● 日本情報産業 (株)	44
● 一級建築士事務所 日本美環室	34
● 宗教法人 入明寺	39
● (株) ニュー平和	41
● ネットトヨタ甲斐 (株)	42
● Bar Bonds	46
● (株) はくばく	35
● 土地家屋調査士 花輪事務所	41
● 馬場設計	41
● (株) 早野組	表2
● ひはらクリニック	42
● (有) ヒロ野草研究所	46
● ヒューコムエンジニアリング (株)	21
● フォネットグループ	40
● 富士観光開発 (株)	45
● 富士急行 (株)	33
● 富士冷暖 (株)	37
● (有) FLAT	35
● (株) BLOOM	46
● (株) ベストアドバイス	44
● ホテル東京	21

● まるい林材	45
● (株) 緑が丘設備	47
● (有) 宮川レッカー	40
● 延福山 妙泉寺	34
● (株) メモリアルハート法事の窓口	22
● 医療法人社団 望月耳鼻咽喉科	45
● (株) やさしい手甲府	36
● (株) 山市成工	45
● 山梨クラリオン (株)	45
● 山梨県南アルプス市百々諏訪神社	22
● 山梨新報社	45
● (株) UG都市建築	42
● ユタカ電機 (株)	45
● 48クラブ (昭和48年卒有志)	37
● 社会福祉法人 四つ葉福祉会	44
● (株) ランウィズ・パートナーズ	44
● 医療法人 立星会	32
● 林野内科医院	43
● (有) 若月建設	45
● わたげの会	32
● (株) 渡辺工業所	41

編集後記

『日新鐘 Vol.31』の制作にあたり、「現役一高生の活躍をぜひこの目で見てみたい！」という思いから取材をお願いしたところ、快くご承諾いただき、約40年ぶりに一高の校内に足を踏み入れることができました。久々の校内では、次第に当時の記憶がよみがえり、懐かしさに包まれながら取材を進めました。

廊下ですれ違う一高生たちの元気いっぱいの「こんにちは！」の挨拶がとても爽やかで清々しく、大変心地良い気分になり、楽しく取材ができました。取材に際し、多大なるご協力を賜りました校長先生をはじめ、探究推進主任、そして他の先生方にも、この場をお借りしまして感謝を申し上げます。

『日新鐘』の発行にあたっては、東京近郊のみならず、山梨県内の企業・個人を含め、多くの方々より広

告・協賛のご支援をいただき、ありがとうございました。また、取材を快く引き受けてくださったお店の方々もありがとうございました。みなさまの熱い「一高愛」をひしひしと感じるとともに、自分も同窓生であることに改めて誇りを持ちました。

当番幹事の拙い原稿を見違えるほどブラッシュアップしてくださり、印刷をご担当いただいた少國民社様にも深く感謝を申し上げます。

今年のテーマ「心のよりどころがある限り～集う心、広がる未来～」のもと、同窓生のみなさまが故郷のような心のよりどころを軸に集い、これからの未来に向けて飛躍し一層ご活躍されることを心より願って——この編集後記を締めくらせていただきます。

令和7年度当番幹事 昭和61年卒

幹事長	中村哲也
副幹事長	新井由紀子、米山剛
事務局長	内田昭彦
懇親会部会	新井由紀子、内田昭彦、小田切充、中村哲也、米澤和子
会計部会	三谷到、内田昭彦
広告部会	松野哲郎、新井由紀子、内田昭彦、小田切充、高井正恵、中村哲也、三谷到、築田知子、米澤和子、米山剛
IT部会	小田切充、新井由紀子
一紅会部会	築田知子、新井由紀子、高井正恵、米澤和子、小田切充
記念誌部会	米山剛、新井由紀子、高井正恵、三谷到
山梨部会	鈴木浩文、野澤俊英、小林玲夫、皆川千香子、饗場紀仁



第65回 甲府中学・甲府一高東京同窓会

たくさんのご支援ご協力をいただき誠にありがとうございました。

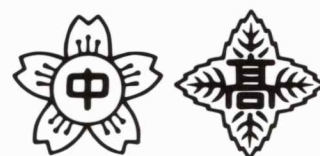
TOKYO



心のよりどころがある限り
～集う心、広がる未来～



甲府一高昭和61年卒業生一同



TOKYO



第65回 甲府中学・甲府一高東京同窓会
2025年7月19日(土) 新宿住友ホール



この同窓会誌は再生可能電力(CO₂排出ゼロ電力)で印刷されています。